

■ 羅生門 言語活動ワークシート

「 「年」 「組」 「番」

「

検印「

」

1 「下人」はこの後どうしただろうか。自分の考えを文章にまとめてみよう。

① 「学習2」を用いて、「下人」の人物像をまとめる。

② 「下人」の人物像や、作品末尾の改稿を踏まえて、「下人」のその後について、自分の考えをまとめる。

1 「羅城門の二階に登って死人を見る盗人の話」は、芥川龍之介が『羅生門』執筆の際、あらすじの典拠とした話である。「羅城門の二階に登って死人を見る盗人の話」と『羅生門』との違いを指摘し、その違いによって、小説にどのような効果をもたらされているかを、考えてみよう。

① 「羅城門の二階に登って死人を見る盗人の話」と『羅生門』との違いを、次の観点から確認する。

【時間帯】

【天候】

【羅城門（羅生門）付近の様子】

【男（下人）が羅城門（羅生門）に登った理由】

【老婆が死人の髪を抜く様子】

【男（下人）が老婆を襲った理由】

【老婆に髪を抜かれる女の境遇】

【男（下人）に襲われたときの老婆の様子】

【物語末尾の描かれ方】

② ①で考察した違いは、『羅生門』にどのような効果をもたらしているかを考える。

【時間帯】

【天候】

【羅城門（羅生門）付近の様子】

【男（下人）が羅城門（羅生門）に登った理由】

【老婆が死人の髪を抜く様子】

【男（下人）が老婆を襲った理由】

【老婆に髪を抜かれる女の境遇】

【男（下人）に襲われたときの老婆の様子】

【物語末尾の描かれ方】